[様式 2-3]

貸 与

第二種奨学金貸与月額変更願(届)(増額)

独立行政法人
日本学生支援機構理事長　殿

私は，返還総額が増すことを理解したうえで，独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与月額を下記のとおり増額することを願い出ます。
つきましては，返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し，誓約した内容に加えて，貸与月額の増額に係る一切の債務に関しても，確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

太枠線内及び必要事項は正確に，もれなく記入のうえ学校に提出してください。※1～7については記入要領を確認しながら記入してください。

奨学生番号		学籍番号		提出日※1	西暦　20　年　月　日	
8 0				生年月日	西暦　年　月　日（満　歳）	
学校名		学年	年	フリガナ		印
学部・学科（課程・研究科）				氏名（自署）※2		

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借用金額」を訂正する場合のみ必要です。

変更後の借用金額（予定・総額）※3		円

※本願出に記載された変更後の借用金額が予定する借用金額を上回っている場合は，貸与月額及び貸与終期から算出される借用金額を正しい金額として取扱います。

■ 月額変更　（「■第二種奨学金の貸与月額」を参照して記入してください。）

希望する増額始期※4	西暦 2 0　年　月から	「希望する増額始期」については，本願出の**提出日の属する月以降**を記入してください。
従前の奨学金月額	円	希望する奨学金月額※5　円
変更する理由		

・第一種奨学金の貸与を受けている場合は，借り過ぎにご注意ください。

■ 保証制度

※現在選択している保証制度にチェックしてください。機関保証加入者は，月額変更に伴い保証料月額が変更となります。

※6 □ 人的保証（右欄を記入）※印鑑登録証明書を添付	連帯保証人 機構届出の	私は，上記の貸与月額の増額を承諾し，記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し，関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 〒 住所　　実印　電話番号 （自署）氏名　　生年月日　年　月　日
	保証人 機構届出の	私は，上記の貸与月額の増額を承諾し，記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，本人が返還すべき返還未済額の2分の1を保証し，関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 〒 住所　　実印　電話番号 （自署）氏名　　生年月日　年　月　日
□ 機関保証		今後貸与を受ける奨学金の保証を，引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので，保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととしてください。

・機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を併せて提出してください。

■親権者又は未成年後見人（本人が未成年者の場合のみ記入）

上記の者が，現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

（親権者又は未成年後見人）住所・氏名（自署）※7	〒　（TEL：　）	（親権者）住所・氏名（自署）	〒　（TEL：　）

本人が未成年者の場合には，親権者がそれぞれの欄に自署してください。親権者が連帯保証人の場合も，本人が未成年者であれば必ず自署してください。親権者とは，民法に定める親権者のことで，通常は両親です。両親がいる場合は，必ず二名とも記入してください。いずれかがいない場合は一人が記入し，余白に一人の旨を記入してください。未成年後見人がいる場合は，未成年後見人が自署してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は，余白にその旨を記入してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。
（学校の証明）　20　年　月　日

学校名　國學院大學

関係課長（※）　学生部長　宮下　雄治

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

●学校記入欄(必須)

返還誓約書機構提出（☑を記入）	☑	提出済

電話番号（担当者名）	学校番号	区分
－　－ （　）	304012	

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は，機構の奨学金支給業務，奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において，当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が，学校，金融機関，文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが，その他の目的には利用されません。機関保証加入者については，機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また，行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は，適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

異動・補導係	郵送必要	入力不可

(25. 4)

■　第二種奨学金の貸与月額

（大学院以外）

貸与月額	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円
	70,000円	80,000円	90,000円	100,000円	110,000円
	120,000円				

私立大学の医･歯学課程及び薬学･獣医学課程の場合は，下記貸与月額への変更も可能

私立大学増額貸与 医・歯学課程	160,000円	貸与月額最高額（120,000円）＋増額（40,000円）
私立大学増額貸与 薬学・獣医学課程	140,000円	貸与月額最高額（120,000円）＋増額（20,000円）

（大学院）

貸与月額	50,000円	80,000円	100,000円	130,000円	150,000円

法科大学院の場合は，下記貸与月額への変更も可能

法科大学院 増額貸与	190,000円	貸与月額最高額（150,000円）＋増額（40,000円）
	220,000円	貸与月額最高額（150,000円）＋増額（70,000円）

[様式 2-3]

貸 与

第二種奨学金貸与月額変更願(届)(増額)

記入例

独立行政法人
日本学生支援機構理事長　殿

私は，返還総額が増すことを理解したうえで，独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与月額を下記のとおり増額することを願い
つきましては，返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し，誓約した内容に加えて，貸与月額の増額に係る一切
確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約

太枠線内及び必要事項は正確に，もれなく記入のうえ学校に提出してください。※1～7については記入要領を確認しながら記入してください。

奨学生番号											学籍番号	ABCXXX	提出日※1	西暦 20 25 年 11 月 24 日	
8	2	X	0	4	X	X	X	X	X	X			生年月日	西暦 2004 年 10 月 1 日 (満 19 歳)	
学校名		学生支援大学							学年	3 年			フリガナ	ｷｺｳ ﾀﾛｳ	機構
学部・学科(課程・研究科)		経営学部											氏名(自署)※2	機構 太郎	

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借用金額」を訂正する場合のみ必要です。

変更後の借用金額に訂正が生じたので、氏名横にも同一の印鑑を押印。

変更後の借用金額(予定・総額)※3	3 1 8 0 0 0 0	~~2 7 6 0 0 0 0~~

以下の手順で変更後の借用金額を訂正。
①金額全体を二重線で抹消
②二重線上に本人印及び
連帯保証人・保証人の実印を押印
※機関保証選択者は本人印のみ
③正しい金額を直近余白に記入

※本願出に記載された変更後の借用金額が予定する借用金額を上回っている場合は，貸与月額及び貸与終了

変更後の借用金額以外の訂正には訂正印の押印は不要。

■ 月額

「月額」を参照して記

希望する増額始期※4	西暦 2 0 2 5 年 1 1 月から	
従前の奨学金月額	~~3 0 0 0 0 0~~ 4 0 0 0 0 円	希望する奨学金月額※5 7 0 0 0 0 円
変更する理由	ア	するため。

・第一種奨学金の貸与を受けている場合

■ 保証制度

※現在選択し

【人的保証選択者のみ】
連帯保証人・保証人それぞれが添付する
印鑑登録証明書のとおりに自署し、実印を押印。

印影の一部が欠けてしまったので、
訂正のため二重線で抹消し、
枠内に押印し直す。

☑ 人的保証(右欄を記入)※6
※印鑑登録証明書を添付

機構届出の連帯保証人

私は，上記の貸与
したがって債務履行

〒226-8503
住所 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3
機構 友
電話番号 ○○○-△△△-××××
生年月日 昭和40 年 12 月 1 日

正しい欄に記入。
(逆に記入した場合は新しい用紙に書き直してください。)

機構届出の保証人

奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき，本人が返還すべき返還未済額の2分の1を保証し，関係法令及び返還誓約書等

住所 ~~東京都江東区海2-×-1~~
機構 一郎

連帯保証人・保証人欄の記入を訂正する場合は、
二重線で抹消し、実印を線上に押印。

19 日

□ 機

・機構届

■親

上記

(親
未成
住所・

本人が未成
合は，必ず
変更されて

上

(

学

ご記入い
(奨学金の
情報が保証

【増額反映月が増額始期の次月以降になる場合の振込例】
(本例では1月振込反映の申請期限までに不備が無い状態で機構に届いた場合を想定しています。)

希望する増額始期を提出日の属する11月としているところ、実際には11月分の振込は既に完了しており、
12月分も従来どおりの40,000円が振り込まれる。

11月24日提出　11月始期を希望

	10月	11月	12月	1月	2月
希望	4万円	7万円	7万円	7万円	7万円
↓		↕ 差額 3万円	↕ 差額 3万円	→ 計6万円	
実際	4万円	4万円	4万円	13万円	7万円

11月から7万円としたいが11月は既に振込が完了	1月反映の提出期限に提出されたため、12月も振込4万円	1月に希望の額＋差額の振込 2月から希望額での振込

1月振込分にて希望の70,000円および従来との差額30,000円×2か月分の計130,000円が振り込まれ、
2月以降は希望の70,000円の振込となる。

記入要領

■願出全体にかかる注意事項

			□チェック	【よくある不備】
	記入	○黒又は青のボールペンで記入していますか。	□	×消せるボールペンや、時間の経過により字が消えるボールペンで記入している
	訂正方法	○誤記入を訂正する場合は以下のとおり訂正していますか。（訂正印は不要） ①訂正箇所全体に二重線を引く。 ②訂正箇所の直近余白にはっきりと読み取れるように書き直す。 ※ただし、以下の箇所の訂正は除きます。 ・「変更後の借用金額」欄（※3参照） ・「■保証制度」欄（人的保証のみ）（※7参照）	（該当者のみ） □	×修正液や修正テープで訂正している ×塗りつぶし、なぞり書きで訂正している

■奨学生本人の情報

			□チェック	【よくある不備】
※1	提出日	○学校に願出を提出する日を記入していますか。 返還誓約書を学校が機構指定送付先へ発送した日以降でないと「月額変更願」の提出はできません。	□	×返還誓約書提出前の日付を記入している
※2	本人署名	○奨学生本人が願出に直接署名していますか。	□	×印字されている ×願出コピーやPDFを提出 ×連帯保証人および保証人と同一筆跡
	本人署名横の押印	○奨学生本人の印で鮮明に押印していますか。 ※「変更後の借用金額」欄を訂正する場合のみ必要です。	（該当者のみ） □	×シャチハタを押印 ×連帯保証人または保証人と同一印 ×二重印、欠け印等による不鮮明

■変更後の借用金額

			□チェック	【よくある不備】
※3	変更後の借用金額	○別紙「「変更後の借用金額」の確認方法」を確認しながら記入しましたか。 当該書類が手元ない場合は学校に申し出てください。 ※本願出による月額の増額に加え，貸与期間も延長となる場合は，貸与期間延長後の金額を記入してください。	□	×希望する奨学金月額を記入 ×既貸与金額を借用金額に含めていない
	※変更後の借用金額欄の訂正方法	○別紙「【参考】「変更・訂正後の借用金額（予定）」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について」のとおりに修正していますか。 当該書類が手元にない場合は学校に申し出てください。	（該当者のみ） □	×金額全体に二重線がない（一部のみ訂正） ×二重線上に押印がない ×本人署名横の印と異なる印が押印されている ×印が不鮮明 【人的保証のみ】 ×本人署名横印、連帯保証人および保証人のそれぞれの実印が重なって押印されている ×印鑑登録証明書と異なる印が押印されている

■月額変更

			□チェック	【よくある不備】
※4	増額始期	○提出日の属する月以降を記入していますか。	□	×提出日よりも前の月を記入している
※5	希望する奨学金月額	○選択可能月額の中から記入していますか。 選択可能な月額が不明の場合は，「第二種奨学金の貸与月額」を確認してください。	□	×「10,000円」と記入

■保証制度

			□チェック	【よくある不備】
※6	人的保証	○連帯保証人・保証人の自署・実印の押印がありますか。 ※機構届出の連帯保証人・保証人を変更する場合及び氏名変更が生じた場合は「連帯保証人・保証人等変更届」を併せて提出してください。なおそれぞれの願（届）出に印鑑登録証明書の添付が必要です。	（人的保証のみ） □	×連帯保証人・保証人を逆に記入している ×連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書記載の住所と異なる住所（氏名・生年月日）が願出用紙に記入されている ×連帯保証人・保証人欄の訂正に印なし →それぞれ訂正する欄の実印を二重線上に押印
		○連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書が添付されていますか。 「月額変更願」と印鑑登録証明書はホチキス留めしてください。	（人的保証のみ） □	
	※連帯保証人・保証人記入欄の訂正方法	○別紙「【参考】「変更・訂正後の借用金額（予定）」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について」のとおり修正をしていますか。 当該書類が手元にない場合は学校に申し出てください。	（該当者のみ） □	×二重線上に押印がない ×連帯保証人欄を連帯保証人実印（保証人欄を保証人実印）で訂正していない ×印鑑登録証明書と異なる印で訂正されている

■親権者又は未成年後見人（本人が未成年者の場合のみ記入）

			□チェック	【よくある不備】
※7	親権者又は未成年後見人	○提出日時点で未成年者の場合は親権者（未成年後見人）の署名がありますか。 両親がいる場合は必ず両名の署名が必要です。	（未成年のみ） □	×両親がいるにもかかわらず父（母）のみしか記入がない

記入が必要な事項に漏れ等があった場合は、振込みが遅れる場合があります。

提出前に再確認を行いましょう。

「変更後の借用金額」の確認方法

①現在の「貸与総額（予定）」を確認する。
②月額変更願で増額となる分の借用金額を計算する。
③①と②の合計金額を「変更後の借用金額」欄に記入する。

スカラPSにログインすると、「詳細情報」タブの画面から、あなたの奨学生番号ごとの詳細情報が確認できます。
（URL：https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/top_open.do）

例：2025年9月を始期として貸与月額を30,000円から50,000円に増額希望。

「貸与」と表示されている場合のみ計算が可能です。

（注）
同一奨学生番号で 入学時特別増額の貸与を受けている場合は、貸与増額（予定）には入学時特別増額が含まれています。

②月額変更願を提出することで増額となる借用金額（予定）

→ A ：月額変更を希望する月から貸与終了月までの月数 × B ：月額の差額 で計算

A ：2025年9月～2029年03月 の 43か月
B ：「希望する奨学金月額」から「従前の奨学金月額」を差し引いた金額
50,000 － 30,000 ＝ 20,000円

A ： 43か月 × B ： 20,000円 ＝ 860,000円 ②

変更後の借用金額

①現在の「貸与総額（予定）」	**1,440,000円**
②増額となる借用金額	**860,000円**
③変更後の借用金額（①+②）	**2,300,000円**

③を「月額変更願」の「変更後の借用金額」欄に記入

変更後の借用金額（予定・総額）		2	3	0	0	0	**0**	0

【参考】「変更・訂正後の借用金額（予定）」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について

願（届）出用紙の訂正は、なぞり書きや修正テープ等での訂正はできません。
署名訂正や押印についても、下記を確認し、適切に訂正してください。

■『変更・訂正後の借用金額（予定）』欄の訂正方法について

①本人署名横に本人印を押印する
②借用金額**全体を二重線**で削除する
③訂正した**二重線上に訂正印**を押印する（訂正箇所ごとに各押印が必要）
・人的保証の場合：本人印（本人氏名横同一印）・連帯保証人と保証人の実印
・機関保証の場合：本人印（本人氏名横同一印）
④正しい金額（ゼロも含めた全ての桁）を上部余白に記入する

■『連帯保証人・保証人』欄の訂正方法について

〈例〉署名を訂正する場合
①**氏名全体に二重線**を引く
②署名を訂正する者の実印を、
　二重線上に他の印と重ならないよう押印
③**欄内余白**に、文字が重ならないよう正しく署名する

署名を訂正する場合は、実印を押印し**欄内に**正しく署名

※欄内の住所、電話番号、生年月日についても同様の方法で訂正が必要です。
※奨学生本人の自署欄は訂正印不要です。

■正しい『押印』の例

重印・二重印・欠け印・にじみ印とならないよう、**朱肉を用いて鮮明に押印**してください。

本人印は、朱肉を用いて押印※豆印不可

連帯保証人や保証人は、実印での押印のみ
※印鑑登録証明書に押印されている印